

# 北海道の道を活かそう!

第6回



(あべ・ひとし) 1961年東京都生まれ。東京大学工学部都市工学科卒業、修士修了、博士1年中退。88年にJR東日本に1期生として入社し鉄道の実務と研究開発の経験を重ねた。2004年に退職して(株)ライトレールを創業。交通計画のコンサルティングに従事

## 大盛況の山線はやり様で収支改善

### コロナ明けの山線は大盛況

コロナ禍が明け、お盆は特に利用が増えて山線は大盛況となった。You Tube「北海道」乗り物大好きチャンネルの「小樽ー余市」2両は限界か? 乗客が爆増! 想定以上の混雑で列車も遅延!」によると以下だ。

- ▽余市人気が高まり鉄道ファンに限らず山線の利用が激増
- ▽平日朝ばかりでなく平日昼と週末も2両編成でも混雑し遅れが常態化
- ▽山線のICカード不可への精算対応で列車が遅延
- ▽ICカード対応のためワンマン運転に1名追加乗務、蘭島駅に駅員も
- ▽積み残しそうな列車へは駅員が対処

### 小樽にて2分前に快速出発

表のように、山線全線を走破できる列車は早朝夜間を除くと2・5往復しかなく、行程を組めずに断念する人が多数だろう。利用の多い余市ー小樽ですら昼は2時間に1本だ。

### 山線全線を走破できる列車

|    |             |     |             |
|----|-------------|-----|-------------|
| 小樽 | 603 → 737   | 俱知安 | 802 → 919   |
| 小樽 | 1329 → 1502 | 俱知安 | 1517 → 1627 |
| 小樽 | 1638 → 1813 | 俱知安 | 1822 → 1950 |
| 小樽 | 2004 → 2137 | 俱知安 | 2140 → 2250 |
| 小樽 | 1411 ← 1235 | 俱知安 | 1212 ← 1053 |
| 小樽 | 1832 ← 1655 | 俱知安 | 1632 ← 1505 |
| 小樽 | 2002 ← 1830 | 俱知安 | 1806 ← 1652 |
| 小樽 | 2236 ← 2058 | 俱知安 | 2046 ← 1929 |

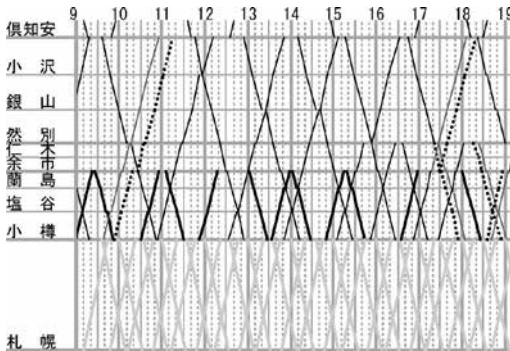
※網掛けは早朝深夜。 ※長万部での函館方面特急との接続も不便。

驚くことに、余市方面から小樽に19時02分に着くと、2分前に札幌方面の快速エアポートが出發した直後だ。これだけ

不便にもかかわらず多くの利用があるのだから、便利にすれば利用も売上も確実に増える。

### コスト増なく便利なダイヤ

特に利用の多い余市ー小樽に限って増便し、また小樽での快速との接続を改善したダイヤ案を練った。横が時刻縦が駅で、1つ1つのスジが列車だ。



※太線は増便、薄線は現行、太点線は時刻変更

6往復増便でき、現行の追加乗務と蘭島車両1両と運転士1名の増のみで

### 鉄道ビジネスの収支を改善

表のように、小樽での快速と山線の接続を大幅に改善できる。列車で余市へ出かける人が相当増えるはずだ。

### ダイヤ案による小樽での快速と山線の接続改善

| 余市方面→札幌方面 |      | 札幌方面→余市方面 |       |
|-----------|------|-----------|-------|
| 山線到着      | 快速出発 | 快速到着      | 山線出発  |
| 01:42     | 18   | 8         | 6     |
| 15        | 35   | 9         | 38→53 |
| 18        | 00   | 10        | 53    |
| 55        | 30   | 11        | 31    |
|           | 00   | 12        | 53    |
|           | 00   | 13        | 34    |
|           | 27   | 14        | 51    |
|           | 28   | 15        | 34    |
|           | 44   | 16        | 50    |
| 12        | 00   | 17        | 05    |
| 26        | 00   | 18        | 51    |
| 27        | 00   | 19        | 52    |
| 12        | 00   | 20        | 27    |
| 04        | 55   | 17        | 42    |
| 02        | 25   | 18        | 29    |
| 02        | 50   | 19        | 29    |
| 44        | 00   | 20        | 24    |

※太字は現行の20分以内接続。 ※網掛けは現行。 ※斜字は増便・時刻変更による新たな20分以内接続。

公共の雑誌に部外者が「ダイヤをこのように改めることで、コストは増えず、利用者は増え、収支が改善される」と発表するのは異常なことだ。 JR北海道には、このアイデアをすぐに使ってもらいたい。利用者のため、地域のため、自らのために。他線への影響はなく、来春の全国ダイヤ改正を待つ必要はない。